

学習指導案 テーマ③

【題名】みんなのデジタル教室 03「デジタルシチズンシップと情報発信」			
【学年】	【科目】	【単元名】	【コマ数】
中学校～高等学校	総合・道徳	—	1 (50 分)
内容	疑似体験のワークを通して、安全かつ効果的な SNS での情報発信のしかたを考える。		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルシチズンシップについて知り、社会参画・社会貢献に繋がる発信について、自分自身に関わる機会があることを理解することができる。＜知識及び技能＞ ・デジタル社会での発信について、適切な方法を獲得することができる。＜知識及び技能＞ ・具体的なシチュエーション(疑似発信・疑似体験)を通して、社会参画・社会貢献に繋がる発信内容について考え、責任をもって判断し、デジタルの手法を用いて表現することができる。＜思考力・表現力・判断力等＞ ・具体的なシチュエーション(疑似発信・疑似体験)での学習経験から、デジタルの力を使って、社会参画・社会貢献するという姿勢を育むく人間性・学びに向かう力等＞ 		
準備	PC・プロジェクター＆スクリーン・スピーカー・ワークシート・筆記用具 (+Web 環境) ※企業教育研究会が、オンライン授業もしくは出張授業で講師を行うことを想定)		
活動	教師の働きかけ		指導上の留意点
2 分	1. 今まで受けてきた情報モラルの授業の内容について想起し、本時の授業の方向性について示す。 ＜発問＞ 「デジタルシチズンシップという言葉を知っていますか？」 ＜指示＞ 「今日は今までと違った角度でスマートフォンの使い方を考えていきます。最後にデジタルシチズンシップとは何か、自分の言葉で言えるようにしましょう。」		<ul style="list-style-type: none"> ・SNS上のネットトラブル(情報モラル教育)といったデジタルのマイナス面について授業をするのではなく、SNS のプラス面について一緒に学習していくことを冒頭で伝える。
13 分	2. 事例1「あるスポーツ選手の優勝パレードでの、ファンによる呼びかけ」 ＜説明＞ 「あるスポーツ選手が金メダルをとった時に、受賞パレードが行われ、10万人の人々が集まりました。以前行われた同じ選手の受賞パレードでは多くのゴミが捨てられていたのですが、今回のパレードでは捨てられるゴミの量が格段に少なかったのです。」 「この10万人のパレードで出たゴミ袋の量はどれくらいだったと思いますか？」 ※選択肢を示して、挙手にて答えさせる。 ＜発問＞ 「捨てられるゴミの量が格段に少なくなった大きな要因は何だったと思いますか？」 ＜指示・発表＞ 「グループで話し合ってみましょう。」「話し合った内容を発表しましょう。」 ・SNS上で呼びかけたこと ・パレード運営側が HP で連絡したこと ・ゴミ箱の数を減らしたこと ＜説明＞ ・選手のファンが、以前マナーが悪いと言われたことが悔しく、ゴミを捨てないように行動したいと発信したことが多くの人々が共感して、ゴミの量が格段に減った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【先生から生徒への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いがスムーズにいくよう、積極的に生徒への声掛けをお願いします。 ・生徒に答えを発表してもらう方法をとるかどうかは、生徒の声が授業者側に聞こえるかどうかによります。もし聞こえない場合は先生が生徒の声を拾って授業者側にお知らせいただくこともあります。 (発表については以降同じです。) </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・事例1は「ある選手の金メダルの受賞パレードでの SNSのエピソード」を取り上げる。 ・渋谷のハロウィン等多くの人が集まるイベントではゴミ問題が起きており、過去に数百のゴミ袋(90リットル)が出てしまう状況であったことを伝える。 ・今回のパレードでは6袋という極端に少ない量しか出なかったことを伝えるとともに、前回のパレードではゴミが多く捨てられていて、当時参加していた人々のマナーの悪さについて言及されていたことにも触れる。 ・思いを言葉にし、それをSNSで発信することで、共感を生んだり、困った人を助けたりすることに気づくことができるようにする。

	<p>3. 事例2「地震時の高層マンションにいる高齢者への、地元高校生による支援」</p> <p><説明> 「大地震が起きて長期間停電が続いた地区がありました。この地区では様々な災害ボランティアが行われていました。」</p> <p><発問> 「停電時の高層マンションの状況について SNS で情報発信を行いました。どのような投稿でしょうか？」</p> <p><指示・発表> 「グループで話し合ってみましょう。」「話し合った内容を発表しましょう。」</p> <p><説明> ・地元高校生が、停電でエレベーターが使えない高層階に住んでいる高齢者に水を届けるボランティアをSNSで呼びかけ、30人ほどの高校生が集まった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【先生から生徒への支援】</p> <p>・グループでの話し合いがスムーズにいくよう、積極的に生徒への声掛けをお願いします。</p> </div>	<p>・事例2「北海道胆振東部地震時の高層マンションにいる高齢者への、地元高校生による支援」</p> <p>・災害時はSNSを使用してボランティアや災害物資の呼びかけをすることがあることを示す。</p> <p>・中学生や高校生でもSNSを使うと世の中の役に立つ行動ができることに気づかせる。</p>
20 分	<p>4. ワークショップ1:大地震における災害時の SNS での発信を「デジタル避難訓練」として疑似体験する。</p> <p><説明> (地図を見せて) 「この町で震度6強の地震が起きました。地震によって大変な状況が起きています。マウスを合わせると被害状況や人々の動きを見ることができます。」</p> <p><発問> 「こうした被害状況や人々の様子を見て、先程の高校生のようにSNSを使って、この町の人々の役に立つ発信を考えてみましょう。」</p> <p><指示> 「タブレットを使って、地図上の画像の情報から、この町の人々のためになる発信を入力して発信しましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【先生から生徒への支援】</p> <p>・ペアでタブレットに発信内容を入力できているかどうかを机間指導していただき、困っているペアには積極的に声掛けをお願いします。</p> </div> <p><指示> (入力が終わったら) 「グループごとに発信した内容を読んで優れた発信については『いいね』を付けましょう。」</p> <p><発問> 「『いいね』が多く付いた発信はどのような点が優れていると考えますか？」</p> <p><指示・発表> 「グループで話し合ってみましょう。」「話し合った内容を発表しましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【先生から生徒への支援】</p> <p>・グループでの話し合いがスムーズにいくよう、積極的に生徒への声掛けをお願いします。</p> </div> <p><説明> ・生徒の発信内容についてコメントする。</p>	<p>・Web 上の地図にマウスを合わせると、様々な被害状況や人々の動きが1枚の静止画として映し出される。</p> <p>・「いいね」が多い発信のよさを検討し、講師が意見に対して講評する場合、「社会貢献しようという思い」が込められているかに着目する。</p> <p>・SNSでプラスになる発信とは何かを個々に考えさせ、ワークシートに書かせる。</p> <p>・発信内容が詳細に説明されている方が受け手側はどのようにすればよいかわかり、共感を得やすいことに気づかせる。</p> <p>・ガソリンスタンド等の例を用いて、災害時には発信者がよかれと思ってものによって悪影響につながる場合もあることに気づかせる。</p>
10 分	<p>5. ワークショップ2: 日常的なSNSでプラスになる発信を考える。</p> <p><発問> 「大災害の時だけでなく、日常生活の中でみんなのプラスになるSNSの発信を考えていきましょう。」</p>	<p>・SNSでプラスになる発信とは何かをペアで考えさせ、ワークシートに書かせる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が助かる、役に立つ内容の参考例を紹介する。 ・相手が喜ぶ内容の参考例を紹介する。 <p>＜指示・発表＞</p> <p>「日常生活の中でみんなのプラスになる具体的な発信を、ワークシートにペアで相談して書きましょう。」「ペアで考えた内容を発表しましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【先生から生徒への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか発信内容が浮かばないペアが出てくることが予想されます。先生が机間指導する中で好ましい内容と思われるものを全体に広める等、積極的に生徒への声掛けをお願いします。 </div> <p>＜説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発信内容についてコメントする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用タブレットにワークシートを配布する方法でも構わない。 ・SNSによる情報発信については、「相手が喜ぶ」「相手が助かる」という相手意識も重要であることに気づかせる。
5 分	<p>6.講師からの話を聞き、デジタルシチズンシップについて考える。</p> <p>＜指示・発表＞</p> <p>「今日の授業から、あなたが考えるデジタルシチズンシップとは何かを個々にワークシートに書きましょう。」「自分が考えた内容を発表しましょう。」</p> <p>＜説明＞</p> <p>「SNSでどのような発信をするかは、みなさんの意思によるところが大きいです。デジタルシチズンシップを忘れずに、デジタル社会でうまく情報と付き合っていきましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉でデジタルシチズンシップを表現することで、日常の行動化につなげるようにする。